

委員会研修報告

各常任委員会が先進地などを調査しました。

総務財政委員会

新庁舎建設後の市民サービス等について

昨年10月に、兵庫県加東市へ行政視察を行いました。

加東市は、平成18年3月20日に社町、滝野町、東条町が合併し誕生した市です。

合併当初は、嘉麻市と同様に分庁方式による行政運営を行っていましたが、平成26年2月24日から新庁舎での業務をスタートした際に、合併以降行ってきた総合窓口業務を見直し、専門性の高い業務は担当課へ、住民異動や戸籍届出に付随する業務は引き続き窓口でのワンストップサービスをを行い、住民サービスの充実を図っていました。

加東市の特徴的で住



民からも好評な業務として、新庁舎の玄関ホールに来庁者の案内・誘導を行うとともに、住民票などの交付申請書の書き方等まで案内するコンシェルジュ（総合的世話係）を配置していました。

民生文教委員会

能代ふれあいプラザ・サンピノについて

昨年10月に、秋田県能代市へ行政視察を行いました。

同市は、秋田県の北西部に位置し、古くから木材産業が盛んで、今回視察した能代ふれあいプラザ・サンピノにはふんだんに木材が

使用されています。

同施設は、地域に開かれた世代を超えた交流の場として、デイサービスセンター、保育所、高齢者住宅を併設して平成16年4月に使用が開始されました。

同施設でのデイサービス事業のうち、保育所児童との交流事業が最も盛んで、ハロウィンやクリスマス会など

年間14回実施され、参加者も延べ4千人に上っています。

また、七夕コンサートやサンピノ祭りなどを開催し、地域と施設の交流を図っています。



産業建設委員会

南アルプス完熟農園整備事業について

昨年10月に、山梨県南アルプス市において「南アルプス完熟農園整備事業」について視察を実施しました。

完熟農園は、農業の6次化拠点施設として、遊休農地の増大や農業後継者不足などの

解消、また地域ブランドの確立などのため、国から地域活性化総合特区の指定を受け整備されています。

整備及び運営は、市から60%の出資を受け設立された(株)南アルプスプロデュースが行っています。市から交流職員として3人が派遣されています。

レストランや新鮮野菜・果物の直売のほか、地域特産品を生かした独自のオリジナル商品の開発にも取り組んでいます。

